

平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 滝沢 昌彦 (TEL) 025-270-7111
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績 (平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	28,539	1.0	1,216	△24.4	1,264	△27.7	656	△39.3
29年6月期第3四半期	28,254	△0.9	1,609	59.0	1,748	92.8	1,081	184.4

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 699百万円(△29.0%) 29年6月期第3四半期 984百万円(532.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	35.51	—
29年6月期第3四半期	58.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	23,911	10,855	45.4
29年6月期	23,520	10,279	43.7

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 10,855百万円 29年6月期 10,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	—	—	6.00	6.00
30年6月期	—	—	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想 (平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	3.5	1,100	△17.4	1,100	△27.9	500	△40.9	27.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期3Q	18,590,000株	29年6月期	18,590,000株
② 期末自己株式数	30年6月期3Q	110,808株	29年6月期	102,008株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期3Q	18,488,712株	29年6月期3Q	18,487,356株

（注）期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）」が保有する当社株式（30年6月期3Q45,800株、29年6月期37,000株）が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（30年6月期3Q36,280株、29年6月期3Q37,750株）。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年7月1日～平成30年3月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続いており全体として緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、節約志向や低価格志向は根強く、消費者ニーズの多様化への対応が求められるなど依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高285億39百万円（前年同四半期比2億84百万円（1.0%）の増加）、営業利益は12億16百万円（前年同四半期比3億93百万円（24.4%）の減少）、経常利益は12億64百万円（前年同四半期比4億83百万円（27.7%）の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億56百万円（前年同四半期比4億25百万円（39.3%）の減少）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、当社の主軸商品群である「減塩商品」を中心に長年ご愛顧いただいている基幹商品のリニューアルを実施してまいりました。

「うなる美味しさな次郎」や「サラダフィッシュ」はテレビや新聞など様々なメディアに取り上げられ、商品の認知が進んだことにより堅調に推移いたしました。おでん商材は11月中旬からの気温の低下により好調に推移したものの、2月以降の気温の上昇により減速傾向となったため、売上高は前年同四半期をやや上回る結果となりました。

利益面においては、労働力不足による人件費の増加に加え、エネルギーコストが増加したことなどにより前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は246億15百万円（前年同四半期比1億1百万円（0.4%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は6億66百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）11億31百万円）となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、10月中旬までは野菜が豊富に出回り野菜市場価格は低迷いたしました。それ以降は台風や低温等の影響による生育遅れなどで出荷量が減り、野菜市場価格が高騰した結果、きのこ市場価格も堅調に推移いたしました。

このような状況のなか安定生産、品質向上に努め継続的に販売促進を行った結果、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は35億45百万円（前年同四半期比1億60百万円（4.7%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は4億34百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）3億59百万円）となりました。

③ その他

（運送事業・倉庫事業）

運送事業におきましては、燃料費等の経費増加があったものの、既存のお客様との取引拡大により、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、前年を上回る新規入庫を獲得し、売上高は前年同四半期を上回ったものの、自然冷媒冷凍機導入による初期費用の発生等により、利益は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は3億78百万円（前年同四半期比23百万円（6.5%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は1億7百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）1億12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は71億51百万円（前連結会計年度末比6億34百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は167億59百万円（前連結会計年度末比2億43百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の減価償却の進行によるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は80億32百万円（前連結会計年度末比1億73百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の増加並びに支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は50億22百万円（前連結会計年度末比3億58百万円の減少）となりました。これは主に社債の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により108億55百万円（前連結会計年度末比5億76百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の43.7%から45.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の第3四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年8月4日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,033,505	911,690
売掛金	2,639,843	3,569,199
商品及び製品	791,927	497,214
仕掛品	603,412	361,952
原材料及び貯蔵品	1,286,029	1,509,352
その他	162,865	302,863
貸倒引当金	△562	△668
流動資産合計	6,517,021	7,151,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,439,983	6,276,489
機械装置及び運搬具(純額)	2,934,935	2,894,612
工具、器具及び備品(純額)	166,504	142,505
土地	3,267,127	3,267,083
リース資産(純額)	199,985	288,844
建設仮勘定	25,866	20,815
有形固定資産合計	13,034,403	12,890,350
無形固定資産	330,023	327,669
投資その他の資産		
投資有価証券	2,915,880	2,824,379
その他	747,243	741,909
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	3,638,624	3,541,788
固定資産合計	17,003,050	16,759,809
資産合計	23,520,072	23,911,415
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,877,411	1,477,883
短期借入金	2,879,925	3,451,682
未払法人税等	518,028	232,349
賞与引当金	60,744	244,632
未払金及び未払費用	1,529,559	1,651,854
その他	993,806	974,514
流動負債合計	7,859,476	8,032,916
固定負債		
社債	1,175,000	660,000
長期借入金	3,171,303	3,288,114
役員退職慰労引当金	57,034	26,719
役員株式給付引当金	34,624	42,199
繰延税金負債	560,204	542,047
その他	382,838	463,760
固定負債合計	5,381,004	5,022,839
負債合計	13,240,480	13,055,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	7,291,907	7,837,368
自己株式	△56,781	△68,919
株主資本合計	8,825,126	9,358,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,344,224	1,310,538
為替換算調整勘定	110,241	186,672
その他の包括利益累計額合計	1,454,465	1,497,211
純資産合計	10,279,591	10,855,660
負債純資産合計	23,520,072	23,911,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	28,254,915	28,539,574
売上原価	20,707,234	21,163,642
売上総利益	7,547,681	7,375,931
販売費及び一般管理費	5,937,750	6,159,541
営業利益	1,609,930	1,216,390
営業外収益		
受取利息	656	1,415
受取配当金	14,447	13,287
受取賃貸料	13,899	13,888
受取手数料	34,184	27,943
売電収入	13,106	11,771
為替差益	117,517	59,088
雑収入	36,443	21,866
営業外収益合計	230,254	149,262
営業外費用		
支払利息	57,298	42,821
持分法による投資損失	25,393	42,204
雑損失	9,221	15,843
営業外費用合計	91,912	100,869
経常利益	1,748,272	1,264,783
特別利益		
固定資産売却益	3,874	1,849
投資有価証券売却益	2,387	—
補助金収入	11,296	10,155
特別利益合計	17,558	12,005
特別損失		
固定資産除却損	1,162	598
固定資産売却損	487	—
火災損失	—	108,362
特別損失合計	1,649	108,961
税金等調整前四半期純利益	1,764,180	1,167,827
法人税、住民税及び事業税	782,179	564,416
法人税等調整額	△99,859	△53,199
法人税等合計	682,320	511,217
四半期純利益	1,081,860	656,610
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,081,860	656,610

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	1,081,860	656,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,361	△33,685
為替換算調整勘定	△150,218	81,093
持分法適用会社に対する持分相当額	12,813	△4,662
その他の包括利益合計	△97,043	42,745
四半期包括利益	984,817	699,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	984,817	699,355
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,514,381	3,385,064	27,899,446	355,468	28,254,915	—	28,254,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,959,395	1,959,395	△1,959,395	—
計	24,514,381	3,385,064	27,899,446	2,314,864	30,214,310	△1,959,395	28,254,915
セグメント利益	1,131,439	359,383	1,490,822	112,666	1,603,489	6,440	1,609,930

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額6,440千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,615,490	3,545,611	28,161,102	378,472	28,539,574	—	28,539,574
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,018,873	2,018,873	△2,018,873	—
計	24,615,490	3,545,611	28,161,102	2,397,345	30,558,448	△2,018,873	28,539,574
セグメント利益	666,202	434,972	1,101,174	107,326	1,208,500	7,889	1,216,390

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額7,889千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。